

岩手医科大学法歯学・災害口腔医学分野における死因究明・身元調査への取り組みについて

我々は主に、身元不詳扱いとなる遺体の個人識別に携わっている。

近年の医療における画像診断の進歩は著しく、身元不明遺体の候補者となる行方不明者の生前資料として、その医療用エックス線画像が有効となることが多い。そこで、法歯学領域での画像による鑑定の質も上げるべく、現在岩手医科大学矢巾キャンパスに、研究での利用も兼ねた法歯鑑定用歯科用コーンビーム CT の設置準備中であり、2022 年 5 月末には起動予定となっている。この機器が本格的に使用されれば、全国的にみても最先端と言える法歯学的鑑定が可能となる。

添付した論文別刷は、身元不明遺体に対する候補者の生前資料との照合に画像が利用された、これまでの鑑定事例をまとめたものである。